

月蝕

夢野久作

青空文庫



はがね
鋼のように澄みわたる大空のまん中で

月がすすり泣いている。

……けがらわしい地球の陰影が

自分の顔にうつるとて………

それを大勢の人間から見られるとて………

………身ぶるいして嫌がっている。



……しかし……

逃れられぬ暗い運命は……

刻々に彼女に迫って来る。

大空のただ中に……



……はじまった……

月蝕が……



彼女はいつとなく死相をあらわして来た。

水々しい生白い頬……………

……………目に見えぬ髪毛を、長々と地平線まで引きはえた……………
それが冷たく……………美しく……………透きとおる……………

コメカミのあたりから水気すいきが……………ヒツソリとしたたる。



彼女はもう……………

仕方がないとあきらめて

暗い……………醜い運命の手に……………

自分の美をまかせてしまうつもりらしい。



顚あごこのあたりが

すこしばかり切り欠かれる。

……………黒い血がムルムルと湧く。

……………暗なまぐさい腥なまぐさいにおいが大空に流れ出す。

……………それが一面に地平線まで拡がってゆく。

彼女を取巻く星の光がギラギラと冴えかえった。



彼女の^{まぶた}瞼が一しきりふるえて

やがて力なく^{くろ}黝ずんて来る。

鼻の横に黒い血の^{かたまり}塊が盛り上る。

………深く斬込まれた^{やいば}刃の蔭に

赤茶気た肉がヒクメク。



世界は暗くなった。

すべての生物は鉛のように重たく

針のように痛々しい心を

ジツと抱いて動かなくなつた。



けれども暗い……鋼鉄よりもよく切れる円形の刃はやいば

彼女の青ざめた横頬を

なおもズンズンと斬り込んでゆく。

そこから溢れ出る暗い……………腥いにおいにすべては溺れ込んでゆく。

……………山も……………海も……………森も……………家も……………道路も……………

……………そこいらから見上げている人間たちも……………



その中にただ一つ残る白い光……………

彼女の額と鼻すじが

もうすこしで……………

黒い刃やいばの蔭に蔽われそうになった。



空一面の夥おびただしい星が

小さな声で囁ささやき合つて

又ヒツソリと静まった。



陰惨な最後の時………

顔を蔽いつくす血の下に

観念して閉じていた白い瞼を

パツチリと彼女は見開いた。



案外に平気な顔で

下界の人々を流し眼に見まわした

ニツコリと笑った。



………ホホホホホホ………

これはお芝居なのよ。

………大空の影と光りの………。

だから妾は痛くも苦しくも………
わたし

………何ともないのよ………

そうしてもうじきおしまいになるのよ。



………でも皆さんホントになすつたでしよう。

……あたし名優でしよう……
オホホホホホ……



ではサヨウナラ……

みなさんおやすみなさい。

……ホホホホホ……

ホホホホホ……

青空文庫情報

底本：「夢野久作全集3」ちくま文庫、筑摩書房

1992（平成4）年8月24日第1刷発行

底本の親本：「日本探偵小説全集 第十一篇 夢野久作集」改造社

1929（昭和4）年12月3日発行

入力：柴田卓治

校正：しず

2000年5月19日公開

2003年10月24日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

月蝕

夢野久作

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>